

開成校新聞

発行
開成中等新聞局
発行責任者 阿部
制作者
山田 村重 和田

1/365コマ



開成祭が近づいてきました！
それぞれ頑張りましょう！

変わりゆく ウィンタースポーツ

改修工事により種目大幅変更

2024年度、1年生はスケート、2年生はカーリングを行った。実際に選手として活躍している方に指導を行ってもらっていた。しかし、2022年度は1年生が歩くスキー、2年生がスケート、3年生がカーリングを行っていた。なぜ競技と学年が変更されたのかを調査した。



▲カーリングを楽しむ12期生

そもそも冬のスポーツを行う目的は、札幌市の教育活動の中で、札幌市の行う特色のある教育活動には雪・環境・読書がある。その中で札幌市の特色である雪という資源を使い、雪と共生していく心を育てていくというのである。しかし近年、地球温暖化が重要視されている。気象庁によると100年あたり1・40℃の割合で、年平均気温が上昇している。また、冬は西日本の日本海側と東日本の日本海側で、一日の降雪量が20cm以上となった日数が減少している。そのため、将来降雪量が減少可能性があるため、降雪量がさらに減少してしまう前に札幌らしさを感じておく必要がある。

一方で種目が変わった原因は2つある。1つはゲレンデスキーの値段が高いことやバスの運転手の人数が減少したためである。もう1つは、改修工事があったからである。2022年度は、歩くスキーを行っていた青少年山の家が改修工事のため、1・2年生がスケート、3年生がカーリングを行った。また、2023年度は、カーリングを行っていたどうぎんカーリングスタジアムが改修工事となったため、1・2年生がスケートで、3年生が自分たちで冬のスポーツを楽しむ企画を行った。その結果、2024年度は1年生がスケート、2年生がカーリング、3年生が創作競技(雪中運動会)へと変化した。

細川先生によると、2024年度に行なった種目を変更する可能性は、数年後であればあるそうだ。スケートやカーリングは現地集合のため、バスの人員確保や物価高などの影響を受けにくいので、数年後であれば可能性はある。しかし、冬のスポーツでは、札幌の中学校ではあまり取り組

まれているのではないため、考えを持ってしまおうではなく、雪が降るといふことは札幌の魅力の1つであるため、楽しんでほしいです。そして、札幌というふるさとを好きになっしてほしいです」と話した。

開成12期生によるNPO活動「KITS」が、学校生活をサポートするためのツール開発を行っている。KITSは、学年内や校内のニーズに応じて、レポート作成やグループワークの効率化を目的としたツールを提供している。活動のきっかけは、学校でICTが十分に活用されていない現状を変えたいという思いだった。Chromebookが配布されているにも関わらず、インターネットのブロックなどの規制により、十分な活用が難しいという課題が背景にあった。そうした問題意識を持つ生徒が集まり、「とにかく『便利』にしたい」という思いからKITSは結成された。

KITS

現在、多くの生徒に利用されているのは、APASスタイルの引用文献自動作成ツール、グループ分けツールなどだ。レポート作成時の引用ルールに悩むことなく文献リストを作成できる機能や、漢文の学習を助ける機能は、特に授業での活用が期待されている。また、グループ分けツールは班決めをスムーズに行うことに役立つ。学級活動などで活用されている。最近では、新たに単位変換や文字数カウンターの機能が追加され、学習や課題の場面でさらに便利になり、正式に特定非営利活動法人として登録され、活動の幅を広げつつある。興味のある生徒は、ぜひ一度アクセスしてみてください。